



広谷っ子

令和4年4月18日

NO. 2



キーワードは「人権」

学校を運営するにあたり、学校教育目標を根幹として、さまざまな取り組みを進めています。詳しくは、裏面の「広谷小学校の教育」をご覧ください。

その中でも特に、令和4年度は「人権教育」をキーワードとして取り組んでいきたいと考えています。

人権教育の推進 = 一人一人の子どもを大切に作る学校

「子どもが毎日、元気に学校に行き、楽しそうにしていること」保護者のみなさまにとって、これが最大の願いではないかと思えます。私たち教職員もそう願っています。



そのために必要なことのひとつが、「一人一人の人権が大切にされること」です。「自分の存在や考えが尊重される」「良さががんばりが認められる」「いじめや差別は許されない」ことなどが保証されなければなりません。そのために、次の2つの視点で取組を進めていきます。

1 一人一人を大切にし、温かい人間関係を生み出す。

子どもが生き生きと安心して生活するには、一人一人が大切にされることと、安心できる温かい環境が必要です。学級や学校全体で、子どもの個性が発揮される取組を進めます。また、一人一人の良さががんばりを位置づける「きら星」の取組を今年度も継続します。

また、友だちや先生との温かい人間関係が生み出されるよう、学級指導で丁寧に繰り返して指導するとともに、「いじめアンケート」を定期的実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めてまいります。

2 おかしいことはおかしいと気づき、正せる子どもを育てる

課題となる事象が起こった時にきちんと正せる力も子どもたちにつけてほしいと考えています。例えば、ブランクの順番ぬかしをする、あだ名で呼ぶ、仲間はずれをするなど、子どもたちの日常生活には理不尽なこと、許されないことが起こります。そうした場面に出会ったとき、おかしいと気づき、その場で止めたり、先生に相談したり、時にはみんなで考えたりすることが大切です。



朝の会・帰りの会や学級会、児童会などできちんと向き合います。また、道徳を中心に、不合理や差別に気づき、考え、行動する子どもの育成について研究を進めます。さらに、「女性」「障がい」「外国人」など、人権課題に関する学習にも取り組みます。